

南アルプス市立八田中学校
平成 30 年度 学校だより
No.12<2019.1.9>

学校だより



発行者
校長 石丸洋一

★★ 新年あけましておめでとうございます ★★

明けましておめでとうございます。平成 31 年(2019 年)元日の日の出は、爽やかな空気の流れとともに、霊峰富士山に当たる陽に新鮮味を感じました。保護者、ご家族の皆様におかれましては、穏やかな新春をお迎えしたことと思います。旧年中は、本校の教育活動に対しまして、深いご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。お陰様で一步ずつではありますが、220 名への教育の成果をあげることができました。本年も八田中学校の教職員は、「チームワーク(組織力)とチームプレイ(結束力)」の両輪で、八田中学校の子ども達へのよりよい教育活動に頑張っていきたいと思ひます。引き続き、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

謹賀新年

本年もよろしく
お願いいたします
平成 31 年元旦



八田中学校
職員一同

昨日(1/8)の 3 学期始業式での「学校長の話」を一部抜粋し、3 学期の授業が始まった今日、「学校だより」にて重ねて「3 年生みなさんへ」、「2 年生・1 年生のみなさんへ」伝えます。

◇◇ 3 年生のみなさんへ! ◇◇

みなさん、悔いのない冬休みを過ごすことができましたか。進路の決定という大切な節目は、次の階段に上がっていくためのものです。一生に一度のこの時期に、自分の力を存分に発揮してほしいと思ひます。みなさんの頑張り、あとに続く後輩へのよき模範となれることも期待しています。

そこで、この時期は、4 月からの生活に向けて身につけておくべき、学力や生活のリズムをしっかりと自分のものとし、受験(受験)に向かっていってください。もう一度、自分の生活を振り返りましょう。

そして、自分の将来を切り拓くのは、自分です。

～「社会に貢献する誇り高い八田中生」となりたいと願っています。～

この 3 学期は、みなさんの学校内外での行動を見ていないようで、見ています。見られているからきちんとするのはなく、当たり前なのが自然と行えるようになります。相手に対して感謝の気持ちを持って接すれば、その思いや姿はよりよい行動となって表れます。また、服装や言葉遣いは、社会生活において重要なことでもあります。

◇◇ 2 年生・1 年生のみなさんへ! ◇◇

あと 3 ヶ月で上級学年に進級します。この学年のまとめの時期でもあります。次学年への準備期間でもあります。誇り高い八田中生としての力量をつけて進級することを期待しています。そのためには、初心の気持ちを忘れず、仲間と共に協力し合って取り組むことが大切です。

そこで、No.1 の「学校だより」でみなさんに伝えた 3 つのことを、改めてこの 3 学期には自覚を持って学校生活を過ごしてほしいと思ひます。

一つ目は、「授業を大切にする」ということです。

二つ目は、「規則正しい生活を大切にする」ということです。

三つ目は、「友達を大切にする」ということです。

この当たり前のことを忘れないでほしいと思ひます。どんな道でも、一步一步です。でも、一步が百歩になったとき、気づかなかった自分の可能性が見えてきます。

以上のことに決意を持って、この 3 学期の学校生活を送ってほしいと思ひます。

<一口メモ：十二支の由来>

大昔の話。神様が「1 月 1 日の朝、1 番から 12 番までに来たものを 1 年交代で動物の大將にする。」という手紙を書きました。それを受け取った全国の動物たちは、自分が一番になろうと翌朝まだ暗いうちから一斉にスタートしました。でも猫だけは「1 月 2 日の朝」と鼠から聞いていたので、出発しませんでした。犬と猿は最初は仲よく並んで走っていましたが、とうとう丸木橋の上で大喧嘩を始めました。いよいよ新年の太陽が昇った時、前日の夕方から出発していた牛が現れましたが、牛の背中に載っていた鼠が「神様、新年おめでとうございまチュウ。」と、牛の背中から飛び降り、神様の前に走って行き、一番は鼠となりました。続いて虎が到着し、そして兎、龍がやってきました。こうして次々に動物たちが到着し、蛇、馬、羊、猿、鳥、犬、猪、蛙の順番となりました。13 番目となってしまった蛙は、がっかりして「もうカエル」といって帰ってしまいました。*「まんが日本昔ばなし」から引用。